

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

スロウ・食の里に提案書を提出
第2回「米の比較試食」を開催
直販部会が様々な活動を行っています
先進地研修、策定委員会を開催
組合員が活躍する地域づくり

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で活動するために作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センターでは、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

これまでの集落座談会やアンケートで、「農地を守っていくためには、まず『米』から話し合おう」との合意を得て、「エコファーマー」「谷相オペレーター組合」「所得向上に向けたアジサイ栽培や直販活動」についての取り組みが始まりました。

「咲かそう・実らそう谷相の夢」！

平成二十年十二月四日に谷相公会堂において、第二回集落座談会を開催しました。

座談会では、米の比較試食、経過報告（各部会の取り組みについて）、スローガン・集落ビジョンについて検討を行いました。

まずはじめに、仁井田米（旧窪川町）、相川米（嶺北）谷相米をそれぞれをおにぎり（産地は知らせず同条件で炊飯）にして食べ比べを行いました。なかには、「一回では、違いがわからない」と、おかわりをしながらチェックする人もいました。

産地を知らせたあとは、「やっぱり食べ慣れた味の谷相の米がおいしい」との声が聞こえてきました。

また、集落ビジョンのスローガンについて検討を行った結果、「**咲かそう・実らそう谷相の夢**」がスローガンに決まりました。

集落ビジョンについては、「集まって考えるのではなく、集まるときには、それぞれが（案）を考えてくるようにしないとまとまらない」との声があり、座談会とは別に「集落ビジョン策定委員会」を立ち上げ検討すること

となりました。

参加者からは、「将来子供や孫子が農業をしてくればいいと思う」「みなが寄って集まって知恵を出したら何かできそうだ」など意見が出されました。



【米の比較試食】



【比較結果発表】



【ビジョン（案）】



集落ビジョン策定委員会を開催！

十二月十八日に「集落ビジョン策定委員会」を開催しました。この会は、集落座談会とは別に策定委員約十名により集落ビジョン（案）を検討するために立ち上げた会です。

委員からは、「集落営農を通じ、多くの集落の人たちの協力を求めて、耕作放棄地の解消に努力しよう」、「エコファーマーとして環境にやさしい、おいしいお米を作ります」など意見が出されました。

策定委員会で作られた集落ビジョン（案）については二月に予定している集落座談会で提案する予定です。



【策定委員会風景】



【ビジョン（案）】

直販部会が様々な活動を行っています！

～蕪生の里に提案書を提出～

直販部会では、十月に「蕪生の里」いきいき生産部会に対する要望を提案書という形で直販店の運営委員会で提案しました。返品時期や返品方法、店舗の売れ筋情報等の改善を提案した結果、他地区の運営委員からも同意が得られ、直販店からは「前向きに取り組む」との回答を得ました。

その結果、谷相集落だけでなく香北町の各集落の集荷所にボードが設置され、売れ筋情報や足りない農産物の情報が貼付されるようになり、農家からの伝言も書き込めるようになりました。

～先進地研修～

十月二十四日に香美市香北支所業務管理課の協力を得て「香北遊裕ふれあい店」（高知店）をはじめ高知市・南国市の七カ所の直販所先進地研修を行いました。

参加者からは、「荷造りの方法によって売れ行きが違ふことや量が多ければ良いということではないことに気づき目から鱗が落ちた」との意見がありました。

～表示の勉強会～

十二月十九日に、第六回直販部会を開催し、JAS法

に基づく農産物加工品の表示や有望果樹について情報提供を行いました。

「JAS法に基づく農産物加工品の表示」では、乾しいたけや漬物の原材料名の書き方について質問がたくさん出されました。

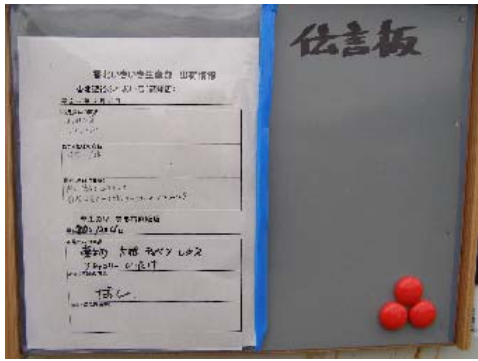
また、直販所向け果樹としてブルーベリーや栗（ぼろたん）の提案を行い、直販部会で取り組みの検討をすることとなりました。

今回の「直販部会」は、一月十六日（金）十三時三十分から谷相公会堂で行う予定です。

また、一月三十日には、高知市七ツ淵集落で先進地研修を行う予定です。



【先進地研修】



【集荷場の掲示板】

アジサイ現地検討会を開催！

十月二十日に、谷相三十代のほ場においてアジサイ現地検討会を開催しました。当日は、約二aの実証ほ場に参加者全員でアジサイの定植を行いました。

参加者からは、アジサイの定植方法の確認や畝幅の確認、定植後の管理等について積極的に質問が出されました。

また、「来年度は、アジサイのほ木を確保し、栽培面積を拡大したい」や「遊休農地に定植したい」等の声がありました。

アジサイの収穫が可能となるには、約三年かかりますが、アジサイは、栽培管理や収穫・調整作業が容易なことから高齢者でも取り組みやすい品目です。

このほか、有望品目として「青ネギの実証ほ」約二aも設置しています。



拡大図



【アジサイ定植】



【青ネギ実証ほ場】



【アジサイ定植風景】

水稻栽培研究会・農作業受委託検討会を開催！

十一月十九日、十二月三日、谷相公会堂において「水稻栽培研究会・農作業受委託検討会」を開催し、農作業受委託の実績のとりまとめや米の品質調査・実証ほの結果、米の有利販売について検討を行いました。

参加者からは、「集落のみんなが、米の農作業受委託や有利販売に取り組んで行くことが必要である」「今後、集落で販売できる米の数量の把握が必要ではないか」等の声がありました。

今後は、機械や施設等の補助事業導入の検討やエコファーマーの勉強会を行う予定です。

座談会や研究会に参加しよう！

地域の皆さんの参加がないと「始まらない」会ですので、今まで参加された方も、途中から参加はしにくいと思っていられつしやる方も、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。



【お知らせ】

- 1月30日：集落営農先進地研修を実施する予定です。
- 集落座談会を2月上旬に開催する予定です。

谷相集落営農組織（案）

谷相集落営農組織
《将来の姿》

- ◇集落ビジョンの作成
- ◇水稻機械類の共同所有
- ◇園芸品目への取り組みによる所得向上

谷相集落の維持・発展

谷相オペレーター組合

水稻栽培研究会

アジサイ栽培研究会（仮称）

直販部会

【代表者】 小松 重治
【組合員】 9名
【設立】 平成20年8月
【目的】 農業機械施設の効率的な利用を図ることにより、農業生産性を向上させ、組合員と地区農家経営の安定化に資する。
【これまでの活動内容】 組織の規約や作業料金、既存の機械を含め組織で必要な機械の検討、収穫作業から組合で受委託の取り組み

【代表者】 小松 重治
【研究会員】 9名
【取り組み】 平成19年12月～
【目的】 水稻の減農薬など地域でまとものある栽培を行い米の有利販売を目指す。
【これまでの活動内容】 エコファーマーへの取り組み、並生米栽培こよみの検討、水稻展示ほの設置等

【実証ほ設置農家】 前田 晴夫
【研究会員】 9名
【取り組み】 平成20年7月～
【目的】 新規園芸品目を導入し、所得の向上を目指す。
【これまでの活動内容】 栽培講習会、現地検討会、ほ木の確保・定植等

【現状】
農家戸数：45戸
高齢化率：64.4％
農地面積：72.7ha
ほ場整備率：14.6％
農家経営主の平均年齢69才
主な栽培品目：水稻 9.11ha 36戸
ニラ 1.9ha 10戸
やっこねぎ 0.1ha 1戸

【いきいき生産部谷相地区運営委員】 大島 美都志
【部会員】 17名
【設立】 平成20年7月～
【目的】 直販所向け園芸品目等の導入・生産拡大を行い、所得の向上を図る。
【これまでの活動内容】 谷相カレンダー、作業記録簿販売価格の検討、種の共同購入検討、直販所への提案書作成と提案実施

発行：中央東農業振興センター
農業改良普及課
連絡先：香美市土佐山田町加茂 777
TEL：0887-53-3039
FAX：0887-53-5140